

承認番号	研究課題名	研究責任者
3172	肝細胞癌症例における切除術とラジオ波凝固療法との予後の比較検討	消化器外科学 山本雅一 教授
3173	安定維持透析患者を対象とした、血清カルニチン値と臨床背景の関連性について	血液浄化療法科 伏見 隆 教授
3174	心臓外科手術後肺炎と口腔内環境因子との関連についての後方視的検討	歯科口腔外科学 安藤智博 教授
3179	ミルタザピン単剤療法にて寛解に至らなかった大うつ病性障害患者における増強療法、併用療法、抗うつ薬の切り替えに関する後方視的観察研究	精神医学 石垣 純 教授
3180	終末期クレアチニン値が上昇しつつある心停止下ドナーからの献腎移植の成績の検討	腎臓外科 淵之上昌平 准教授
3181	極低出生体重児の定額獲得時期の検討	リハビリテーション科 猪飼哲夫 教授
3185	将来の麻酔管理の安全性と質の向上のための麻酔記録データベースの構築	麻酔科 尾崎 真 教授
3186	成人期に達した小児期発症慢性腎疾患患者の成人医療への移行(transition)に関する実態把握のための調査研究	腎臓小児科 服部元史 教授
3187	難治性頭痛を有する虚血発症型もやも病患者におけるアスピリンの有効性に関連する要因の検討	薬剤師 木村利美 薬剤部長
3188	慢性肝疾患に伴う低酸素血症に対する肝移植の現状と予後調査:多施設共同後ろ向き研究	消化器外科学 山本雅一 教授
3189	右室内膜心筋生検標本を用いた尿毒症性心筋症に関する臨床病理学的検討	第二病理学 小田秀明 教授
3190	臨床材料で分離される"Candida albicans"菌株同定の再検討	感染症科 菊池 賢 教授
3193	大腸癌手術における皮下閉鎖式吸引ドレーン留置の有用性に関する検討	第二外科学 亀岡信悟 教授
3194	急性胆道炎発生時のCT動脈相における肝実質染まりムラの検討	消化器外科学 山本雅一 教授
3195	A Single-Center 40-Year experience of 216 Cosecutive Resections for Patients with Hilar Cholangiocarcinoma	消化器外科学 山本雅一 教授
3200	胆管内乳頭状腫瘍の臨床病理学的所見と画像の検討	消化器外科学 山本雅一 教授
3201	再発・難治性前庭リンパ性腫瘍に対するRELAL-88療法の有用性の検討	血液内科学 田中淳司 教授
3202	faecalis/faecium以外のEnterococcusによる菌血症の患者における臨床的背景の検討	感染症科 菊池 賢 教授
3203	研修医によるMacintosh喉頭鏡とMcGRATH™MACビデオ喉頭鏡による気管挿管成功率の検討	麻酔科学 尾崎 真 教授
3205	歯科インプラント埋入後の併発症に関する臨床統計的検討	歯科口腔外科学 安藤智博 教授
3206	高尿酸血症がIgA腎症の予後に与える影響	第四内科学 新田孝作 教授
3207	ダーモスコピーによる皮膚腫瘍画像自動解析プログラムの作成	東医療センター皮膚科 田中 勝 教授
3214	下部逆行直腸癌に対する腹腔鏡下手術の意義	消化器外科学 山本雅一 教授
3215	肺動脈壁を用いた左主幹部病変パッチ形成技術の検討	心臓血管外科学 山崎健二 教授
3216	壁内走行冠状動脈を伴う動脈スイッチ手術の遠隔成績の検討	心臓血管外科学 山崎健二 教授
3219	次世代全自動免疫測定装置及び試薬に関する評価	中央検査部 川島 真 運営部長
3220	腹部造影CTにおけるFast kV switching Dual Energy CT撮影の有用性の検討	東医療センター放射線科 上野恵子 教授
3222	4型胃癌化学療法における効果予測因子としての核酸代謝酵素mRNA発現に関する母集団調査	第二外科学 亀岡信悟 教授
3223	小児期発症の神経筋疾患における心拍変動解析の臨床応用	小児科学 永田 智 教授
3225	羊水染色体検査実施における後方視的検討	母子総合医療センター 松井英雄 教授
3231	年齢別で分けたT1腎癌に対する腎部分切除術と根治的腎摘除術の生存率比較	泌尿器科学 田邊一成 教授
3233	濾胞性リンパ腫の化学療法における初期治療完遂率と併存合併症の関連性の後方視的検討	血液内科学 田中淳司 教授
3238	各種呼吸器疾患における気道粘液組成に関する観察研究	第一内科学 玉西 淳 教授
3240	関節リウマチの日常臨床におけるゴリムマブ50mg及び100mg投与の安全性・有効性の検討	膠原病リウマチ膠原病センター 山中 勇 教授
3242	透析中の母体より出生した児の臨床的検討	母子総合医療センター新生児医学科 楠田 聡 教授
3243	未成年者における色覚異常の色識別能力と社会適応に関する後向き研究	眼科 飯田知弘 教授
3245	心サルコイドーシスにおける非侵襲的画像所見に関する検討	画像診断・核医学 坂井修二 教授
3246	非代償性肝硬変における肝性腹水の実態調査	消化器内科学 橋本悦子 教授
3248	日常診療下における心臓CTの被曝線量に関する調査研究	東医療センター放射線科 上野恵子 教授
3250	鎖骨下動脈浸潤型4肺癌に対する椎骨動脈再建の必要性に関する検討	八千代医療センター呼吸器外科 関根康雄 教授

承認番号	研究課題名	研究責任者
3252	肺癌患者におけるCPFE(combined pulmonary fibrosis and emphysema)合併の術後合併症及び長期予後への影響	八千代医療センター呼吸器外科 関根康雄 教授
3258	肝硬変に伴う体液貯留症例に対するトルバプタン治療の有効性および効果予測因子の検討	消化器内科学 橋本悦子 教授
3259	尿管癌に対するリンパ節郭清の範囲と生存率および再発パターンに与える影響の検討	泌尿器科学 田邊一成 教授
3260	ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術におけるearly unclamping techniqueの無症状性未破裂仮性動脈瘤の発生抑制効果の検討	泌尿器科学 田邊一成 教授
3261	歯科領域における金属アーチファクト低減ソフトの検討	八千代医療センター 寺井 勝 病院長
3263	上皮型と実質型角膜ヘルペス合併例に対する治療法の検討	眼科学 飯田知弘 教授
3267	心肺停止症例に対する予後の研究	救急医学 矢口有乃 准教授
3268	小児の真皮メラノシスに対するレーザー治療における合併症の検討	東医療センター形成外科 井砂 司 教授
3270	極低出生体重児の運動獲得時期と影響を及ぼす初期兆候についての検討	リハビリテーション科 猪飼哲夫 教授
3273	生殖補助医療と高齢妊娠との関係に関する後方視的検討	母子総合医療センター 松井英雄 教授
3274	Fluorescence in situ hybridization (FISH) 法を用いた中皮腫診断法の開発に関する研究	八千代医療センター病理診断科 廣島健三 教授
3277	東京都のNICU入院児における脳性麻痺発症状況の調査 -多施設共同後ろ向き研究-	母子総合医療センター 楠田 聡 教授
3278	肺動脈低形成症候群の病態解明、管理、治療に関する研究	循環器小児科 中西敏雄 教授
3281	85歳以上の高齢者に対する大腸内視鏡検査の妥当性・安全性に関する検討	東医療センター検査科 加藤博之 教授

平成 26 年 6 月 15 日

消化器病センター(消化器内科・外科)に通院中の(または過去に通院・
入院されたことのある)患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「肝細胞癌症例における切除術とラジオ波凝固療法の予後の比較検討」

【研究機関】 東京女子医科大学消化器病センター(消化器内科、消化器外科)

【研究責任者】 山本 雅一 東京女子医科大学 消化器外科 主任教授

【研究の目的】

肝細胞癌に対する主な治療法である手術とラジオ波治療について、治療後の成績を比較し、ラジオ波治療が切除術に匹敵する治療であるかを検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

肝細胞癌の患者さんで、1999 年 9 月から 2008 年 12 月の間に東京女子医科大学消化器病センター(消化器外科または内科)で初回の手術またはラジオ波治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、治療内容、血液生化学検査結果(肝炎ウィルス関連、総ビリルビン、アルブミン、AST、ALT、 γ -GTP、白血球、血小板数、プロトロンビン時間、ヘパプラスチン値、ICG15 分値、Child-Pugh 分類、AFP、AFP-L3、PIVKA-II)、治療関連事項(治療日、術式、手術所見、ラジオ波所見)、病理組織所見(腫瘍個数、腫瘍存在部位、腫瘍径、異型度、門脈侵襲、静脈侵襲、胆管侵襲、肝内転移、非癌部肝病理組織、進行度分類)、画像診断結果(超音波検査所見、CT 検査所、MRI 検査所見)、術後経過(再発形式、再発確認日、生存情報、生存情報確認日、無再発生存日数、在院日数)など

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科

担当医師 斎藤明子

電話 03-3353-8111 (内線 25214)

FAX 03-5269-7435

平成 26 年 8 月 1 日

血液浄化療法科に通院中の透析患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

安定維持透析患者を対象とした、血清カルニチン値と臨床背景の関連性について

[研究機関] 東京女子医科大学病院 血液浄化療法科

[研究責任者] 血液浄化療法科 教授 秋葉 隆

[研究の目的]

安定維持透析患者について、臨床背景と血清カルニチン値について検討をおこない、関連性を評価する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2012 年 1 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日までに東京女子医科大学病院血液浄化療法科に通院された血液透析患者さん

●利用するカルテ情報

性別、年齢、透析歴、身長、ドライウェイト、定期血液検査項目（総蛋白、アルブミン、ビリルビン、AST、ALT、LDH、ALP、ChE、 γ GTP、Amy、CK、BUN、Cre、UA、Na、K、Cl、Ca、P、Mg、Fe、TIBC、フェリチン、中性脂肪、HDL、CRP、BAP、Hb、オステオカルシン、血中 NTx、whole PTH、 β 2MG、）、血清カルニチン値、胸部レントゲン写真、透析方法、治療時間、使用 ESA 量、既往歴（ウイルス性肝炎、癌、心臓手術など）、心臓超音波検査、内服薬（高脂血症治療薬、抗不整脈薬、高血圧治療薬 等）など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 血液浄化療法科 担当 秋葉 隆

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7368

歯科口腔外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

「心臓外科手術術後肺炎と口腔内環境因子との関連についての後方視的検討」

[研究機関] 東京女子医科大学病院歯科口腔外科

[研究責任者] 安藤智博 東京女子医科大学 歯科口腔外科 主任教授

[研究の目的]

肺炎などの術後合併症と口腔内の環境因子との関連を調査することで、今後、周術期口腔管理をする上での標準化につなげるための基礎データとするため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院で心臓外科手術を行った患者さんで、平成 25 年 1 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に周術期口腔管理外来に受診された方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、治療内容、画像診断結果、口腔内診査結果、血液検査結果、体温表等

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院歯科口腔外科 担当医師 熊坂 士

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-2367

平成26年6月3日

神経精神科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

ミルタザピン単剤療法にて寛解に至らなかった大うつ病性障害患者における増強療法、併用療法、抗うつ薬の切り替えに関する後方視的観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院神経精神科

[研究責任者] 石郷岡 純 神経精神科 主任教授

[研究の目的] 抗うつ薬療法の最適化を図るため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

大うつ病性障害の患者さんで、平成18年6月1日から平成26年3月31日の間にリフレックスによる治療を行われた方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：利用しません

カルテ情報：診断名、年齢、性別、血液検査結果、既往歴、家族歴、生活歴、現病歴、治療経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科 担当医師 菅原 裕子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3351-8979

平成 26 年 7 月 1 日

腎臓外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 終末クレアチニン値が上昇しつつある心停止下ドナーからの献腎移植の成績の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院腎臓外科

〔研究責任者〕 腎臓外科 准教授 渕之上昌平

〔研究の目的〕 心停止下ドナーからの献腎移植の成績の検討

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

末期腎不全の患者さんで、平成 8 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に心停止下ドナーからの献腎移植を受けた方

● 利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、既往歴、血液検査、尿検査、処方薬、注射薬、診療記録、ドナー情報、手術記録

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓外科

担当医師 岩藤和広

電話 03-3353-8111 内線(医局) 36441 FAX 03-3356-0293

平成●年●月●日

リハビリテーション科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 極低出生体重児の定額獲得時期の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院リハビリテーション科

[研究責任者] 猪飼哲夫 東京女子医科大学リハビリテーション科 教授

[研究の目的]

極低出生体重児の定額獲得時期を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2011年4月から2014年3月までの間に東京女子医科大学母子総合医療センター新生児医学科で出生した極低出生体重児（出生体重1,500未満児）のお子さんで退院後リハビリテーション科にて発達外来リハビリを受診されている方

●利用するカルテ情報

診断名、合併症、年齢、性別、身体所見、画像診断結果、理学療法評価、その他

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院リハビリテーション科

担当医師 猪飼哲夫 理学療法士 内尾優

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7639

平成 26 年 8 月 12 日

患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「将来の麻酔管理の安全性と質の向上の為の麻酔記録データベースの構築」

【研究機関】 東京女子医科大学病院麻酔科

【研究責任者】 尾崎眞 麻酔科 主任教授

【研究の目的】

手術中の血圧変化などの生体モニタ情報や麻酔関連の情報をデータベース化することで、よりよい麻酔管理法の研究や稀な合併症を防ぐのに役立てることができる

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2003 年から 2013 年の間に麻酔科管理による手術を受けられた患者様

●利用するカルテ情報

手術中の麻酔記録（手術診断名、手術術式、手術時間、麻酔時間、麻酔方法、出血量、輸液量、使用薬剤など）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科

担当医師 尾崎眞

電話 03-3353-8111

平成 26 年 7 月 15 日

腎臓小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 成人期に達した小児期発症慢性腎疾患患者の成人医療への移行（transition）に関する実態把握のための調査研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院腎臓小児科

〔研究責任者〕 服部元史、腎臓小児科、教授

〔研究の目的〕 小児期に発症した慢性腎疾患の患者さまが、成人の医療にどのようなかたちで移り変わられたか、その実態を明らかにすること

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

①小児期に慢性腎疾患を発症した患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 26 年 9 月 30 日の間に、20 歳以上で成人医療施設へ紹介された方

②平成 26 年 9 月 30 日時点で、当科に通院中の 20 歳以上の小児期発症慢性腎疾患患者さん

●利用するカルテ情報

生年月・性、慢性腎疾患の疾患名、慢性腎疾患の発症（発見）年月、成人医療施設への紹介時年齢、紹介契機または紹介できない理由、紹介先医療機関、紹介に関与したスタッフの有無、学歴、就職状況

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 服部元史

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 26 年 8 月 13 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 難治性頭痛を有する虚血発症型もやもや病患者におけるアスピリンの有効性に関連する要因の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院薬剤部 及び 東京女子医科大学病院脳神経外科

【研究責任者】 薬剤部 薬剤部長 木村利美

【研究の目的】 難治性頭痛を有する虚血発症型もやもや病患者を対象に、アスピリンを鎮痛剤として投与することの意義を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

虚血発症型もやもや病の患者さんで、平成 24 年 10 月 1 日から平成 26 年 7 月 31 日の間に脳神経外科で治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

患者背景：診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、頭痛の有無

検査結果（血液検査）：血小板凝集能（ADP/コラーゲン）・AST・ALT 等

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科

担当医師 藍原康雄

電話 03-3353-8111

消化器外科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「慢性肝疾患に伴う低酸素血症に対する肝移植の現状と予後調査：多施設共同後ろ向き研究」

【研究機関】 東京女子医科大学病院 消化器外科

【研究責任者】 山本 雅一 東京女子医科大学 消化器外科 教授
江川 裕人 東京女子医科大学 消化器外科 教授

【研究の目的】

本邦での肝肺症候群症例に対する肝移植の現状と成績を明らかにする。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 7 年 6 月 1 日以降平成 25 年 12 月 31 日までに慢性肝疾患に伴う低酸素血症と診断され、肝移植を受けられた方。

●利用するカルテ情報

- ① レシピエント情報：年齢、性別、肝原疾患、身長、体重、血算・生化学値、腹水量、脳症の有無、Child-Pugh スコア、MELD、転帰、術後合併症、感染症、死亡症例はその原因、心エコー所見、肺血流シンチ所見、術前状態、術後免疫抑制剤、投与法、術前後肝機能、酸素飽和度、血液ガス分析、呼吸器使用の有無及びモード)
- ② ドナー情報：年齢、性別、身長、体重、続柄、転帰、術後合併症
- ③ レシピエント手術情報：手術時間、出血量、グラフト種類、グラフト重量、虚血時間、脾臓摘出の有無
- ④ ドナー手術情報：手術時間、出血量

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 江川 裕人

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7403

平成 26 年 7 月 4 日

東京女子医科大学病院循環器内科にて、
心内膜心筋生検を過去に受けたことのある患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

右室心内膜心筋生検標本を用いた尿毒症性心筋症に関する臨床病理学的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院第二病理学

[研究責任者] 第二病理学 主任教授 小田 秀明

[研究の目的]

慢性維持透析中の患者にみられる心病変の特徴を、拡張型心筋症や高血圧性心疾患の患者と比較検討し、病態診断や治療に役立てる。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

維持透析中の患者さん、拡張型心筋症の患者さん、高血圧性心疾患の患者さんで、1983年1月1日から2013年12月31日の間に当院循環器内科にて心内膜心筋生検を受けた方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：心内膜心筋生検組織

カルテ情報：年齢、性別、身体所見、基礎心疾患、基礎腎疾患、既往歴、手術歴、透析歴、治療内容、治療期間、病理診断名と病理所見、採血・尿データ、胸部レントゲン、心電図検査、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、CT 検査、MRI 検査、核医学検査、内服薬、外来経過、最終観察日（外来受診日、入院確認日、退院日）、死亡日、死亡理由、剖検記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学病院第二病理学

担当医師 吉澤 佐恵子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7473

平成 26 年 8 月 19 日

東京女子医科大学病院に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 臨床材料で分離される“*Candida albicans*”菌株同定の再検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院感染症科

【研究責任者】 菊池 賢 東京女子医科大学 感染症科 教授

【研究の目的】

従来 of 古典的な検査方法で同定された” *Candida albicans*”（カンジダ・アルビカンス）を遺伝子同定法を含む新しい同定方法において再評価する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2000年1月から2013年11月までの間に東京女子医科大学でなんらかの培養検査をうけ *Candida albicans*（カンジダ・アルビカンス）を検出したすべての方

●利用する検体

試料の採取は新たに行うのではなく、被験者自身の疾病の診断・治療等に必要な検査等のために採取される試料のうち残余（医療廃棄物として処分されるもの）を研究用試料として使用するため、検体以外の一切の患者様個人情報を使用しません。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報には一切の個人情報は含まれません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院感染症科 担当医師 平井由児・菊池賢

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-8995

平成 26 年 8 月 20 日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

それぞれの病気の診断や治療は、長い期間をかけて進歩・発展してきて現在の方法になっています。また、より効果的で安全な治療を患者さんにお届けするためには、これからも医療の進歩・発展は重要なことです。このような診断や治療の方法の進歩・発展のためには多くの研究が必要ですが、その中には健康な人や患者さんの方々を対象に実施しなければならないものがあります。これを「臨床研究」といいます。臨床研究は患者さんの方々のご理解とご協力によって成り立つものです。東京女子医科大学では、大学病院としての使命である医療の発展に貢献するため、各診療科の医師が積極的に臨床研究に取り組んでいます。これを「自主臨床研究」といいます。しかし、これらの研究を実施するにあたっては、患者さんの人権や安全への配慮が最も大切です。東京女子医科大学では「倫理委員会」を設置し、それぞれの臨床研究について倫理的観点および科学的観点からその妥当性を審査しています。この臨床研究は、倫理委員会の承認を受けたうえで実施するものです。当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 大腸癌手術における皮下閉鎖式吸引ドレーン留置の有用性に関する検討

あなたの病気は大腸癌で、開腹手術が行われました。本臨床研究は大腸癌の手術自体に影響を及ぼすものではありません。大腸癌の手術は傷の感染がしやすいことが知られており、この研究は傷の感染をより低くするために行われている研究です。

【研究機関】 東京女子医科大学病院第二外科

【研究責任者】 亀岡 信悟 東京女子医科大学 第二外科学教室 主任教授

【研究の目的】 大腸癌手術における皮下陰圧ドレーン留置の有用性の調査。

この研究の目的は皮下ドレーン留置の適用が創感染の予防に役立つことを調べます。皮下での閉鎖式吸引ドレナージを実施すると細菌が増殖する培地となる小胞状溶液の貯留を妨げることによって感染を少なくすることが出来る可能性があり、大腸がん手術を受けら

れる患者様での術後創合併症の予防効果を検討いたします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2012年2月から2016年3月までの間に東京女子医科大学第二外科あるいは八千代医療センター外科で大腸癌の手術を受けた方

●利用するカルテ情報

治療前および治療中、終了後の患者さんの観察、診察および検査結果を比較、検討を行います。

- ① 患者さんの背景情報（年齢、性、身長、体重、Body Mass Index (BMI)、腫瘍の局在、ASA分類）
- ② 皮下脂肪の厚さ、
- ③ 血液検査値（術前後、術後第3病日、第7病日、第14病日のヘモグロビン値、総蛋白値、アルブミン値、血糖値、CRP値）、
- ④ 術後の全身状態ならびに創部の状態（皮下セローマ発生の有無、術野感染症発生の有無、術式、腹腔鏡手術の有無、手術因子（手術時間、出血量、吻合方法、ストーマの有無）、ドレーンの抜去時期、排液量、術後出血の有無、術後合併症、抜去ドレーン先端の菌培）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科 担当医師 板橋道朗

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

消化器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 急性胆道炎発生時の CT 動脈相における肝実質染まりムラの検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 消化器外科

【研究責任者】 山本雅一 消化器外科 教授

【研究の目的】

急性胆道炎の診断に、造影剤注入直後に観察される肝臓の不均一な造影ムラの所見が有用か検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

急性胆道炎（急性胆管炎、急性胆嚢炎）あるいは胆石症の患者さんで、平成 17 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日の間に胆道ドレナージあるいは手術治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、疾患名、胆道ドレナージ方法（術式）、胆管炎（胆嚢炎）有無、症状、血液培養、胆汁培養、起炎菌、入院日数、既往歴（既往手術）、発熱有無、体温、黄疸有無、T-Bil、腹痛、WBC、CRP、Alb、AST/ALT、ALP、rGTP、PTINR、Cre、Plt、CT 造影パターン、転帰

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 消化器外科 担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8111（内線 25116） FAX 03-5269-7507

消化器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 肝門部胆管癌切除 216 例の成績 ～単施設 40 年の経験～

A Single-Center 40-Year experience of 216 Consecutive Resections for Patients with Hilar Cholangiocarcinoma

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 消化器外科

〔研究責任者〕 山本雅一 消化器外科 教授

〔研究の目的〕 肝門部胆管癌切除成績の時代別変化について検討し、成績の向上がどの因子によりもたらされ、さらなる成績向上のために何が必要か検討する

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

肝門部胆管癌の患者さんで、昭和 48 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日の間に手術治療（切除術）を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、術式、手術時間、出血量、輸血量、輸血有無、黄疸、T-Bil、胆道ドレナージ、Alb、経皮経肝的門脈塞栓術、化学療法有無、放射線療法有無、術後補助療法有無、UICC 分類 stage、UICC 分類 T、UICC 分類 N、UICC 分類 M、癌遺残度術後合併症（clavien 分類）、在院死亡発生率、在院日数、後在院日数、胆管像分類（Bismuth 分類）、組織型、リンパ管侵襲、脈管侵襲、神経周囲浸潤、肝浸潤、胆道癌取扱い規約による stage、胆道癌取扱い規約による T、胆道癌取扱い規約による N、胆道癌取扱い規約による M、転帰、再発様式、生存期間、無再発生存期間、観察期間

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 消化器外科

担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8111 (内線 25116) FAX 03-5269-7507

平成 25 年 5 月末日

消化器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 胆管内乳頭状腫瘍の臨床病理学的所見と画像の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 消化器外科

〔研究責任者〕 山本雅一 消化器外科 教授

〔研究の目的〕 胆管内に発育する乳頭状腫瘍の臨床病理学的特徴、画像、予後を明らかにする。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

胆管内乳頭状腫瘍にて東京女子医科大学 消化器外科にて手術を受けられたの患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、症状、発見原因、部位（肝内/肝外）、臨床的粘液産生、術前画像、リンパ節転移、表現型(gastric/intestinal/oncocystic/pancreatobiliary)、予後、再発様式、Bismuth 分類、胆道ドレナージ、生存期間、術式、出血量、手術時間、合併症発生率、在院死亡率、組織型、リンパ管侵襲、静脈侵襲、神経周囲浸潤、周囲進展度、リンパ節転移部位、遠隔転移、癌遺残度（浸潤癌、上皮内癌）、肝側胆管断端、十二指腸側胆管断端、剥離面、肝転移、腹膜播種、補助療法、UICC 分類

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 消化器外科 担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8111（内線 25116） FAX 03-5269-7507

平成 26 年 8 月 1 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 再発・難治性前駆リンパ性腫瘍に対する RELAL-88 療法の有用性の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 血液内科

〔研究責任者〕 血液内科 主任教授 田中 淳司

〔研究の目的〕 RELAL-88 療法の有用性を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

再発・難治性前駆リンパ性腫瘍の患者さんで、
平成 12 年 1 月 1 日から平成 26 年 1 月 1 日の間に RELAL-88 療法を受けた方

●利用するカルテ情報

病歴、診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、骨髄検査、病理検査、画像検査、生理検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 血液内科 担当医師 三橋 健次郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7329

平成 26 年 8 月 6 日

東京女子医科大学病院に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

faecalis/faecium 以外の *Enterococcus* による菌血症の患者における臨床的背景の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院感染症科

[研究責任者] 感染症科 教授 菊池賢

[研究の目的]

腸球菌 (*Enterococcus*) にはいくつか種類がありますが、よく感染症の原因となる *Enterococcus faecalis* (フェカリス菌), *Enterococcus faecium* (フェシウム菌) 以外の菌については病気の症状や危険因子が明らかではありません。このたびフェカリス菌、フェシウム菌以外の腸球菌による感染症がどのくらいの頻度で起こっているか、またどのような方に起こっているのか、どのような治療がより効果的であるのかを調査する研究を行います。これにより今後、これらの菌による菌血症を生じた患者さんの治療に貢献できると考えられます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学病院に入院中または入院したことがある患者さんで、平成 21 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に血液培養検査にてフェカリス菌、フェシウム菌以外の腸球菌が検出された方

●利用するカルテ情報

＊年齢・性別・診断名・身体所見・検査結果（血液検査、画像検査、培養検査）・治療内容・治療後の経過の情報。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院感染症科医局

担当医師 藤田崇宏

電話 03-3353-8111 (内線 39321)

FAX 03-3358-8995

平成 26 年 8 月 6 日

患者さんまたはご家族の方へ**-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「研修医によるMacintosh喉頭鏡とMcGRATH™ MACビデオ喉頭鏡による気管挿管成功率の検討」

【研究機関】 東京女子医科大学病院麻酔科

【研究責任者】 尾崎真 麻酔科 主任教授

【研究の目的】

ビデオ喉頭鏡（気管挿管する際に用いる、ビデオカメラが搭載された新しく開発された医療機器です。）の利用によって気管挿管の安全性がどれくらい向上したのかを検討することが目的です。

【研究の方法】**●対象となる患者さん**

2012 年 5 月から 2014 年 4 月までに麻酔科管理による手術を受けられた患者様

●利用するカルテ情報

手術中の麻酔記録（手術術式、気管挿管に使用した器具の情報など）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科

担当医師 尾崎真

電話 03-3353-8111

平成 26 年 8 月 31 日

歯科口腔外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 歯科インプラント埋入後の併発症に関する臨床統計的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院歯科口腔外科

[研究責任者] 安藤 智博 東京女子医科大学医学部 歯科口腔外科学教室 主任教授

[研究の目的] 歯科インプラント埋入後の併発症に関する調査を行い、その傾向と対策について検討するため。

[研究の方法]

● 対象となる患者さん

2006 年 4 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日までの 7 年間に当科で歯科インプラント埋入手術を行った患者さん

● 利用するカルテ情報

①性別 ②年齢 ③歯科インプラントサイズ ④埋入部位 ⑤埋入本数 ⑥埋入時のペリオテスト値 ⑦全身疾患の有無 ⑧糖尿病の有無 ⑨抗血栓療法の有無 ⑩全身疾患の数

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院歯科口腔外科 担当医師 岡本俊宏

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-2367

平成 26 年 9 月 2 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 高尿酸血症が IgA 腎症の予後に与える影響

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓内科

【研究責任者】 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科主任教授

【研究の目的】

腎生検（入院中に施行した背中から針を刺し、腎臓の組織の一部を持ってくる検査です）の時に存在する高尿酸血症が予後[その後の IgA 腎症の経過（特にその後透析や腎移植を必要となったか否か）]にどのような影響を与えるか調べることです。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1974 年より 2005 年までの間に、当施設において腎生検にて IgA 腎症と診断された中で、腎生検時 20 歳以上だった方。

●利用するカルテ情報

性別、生年月日、身長、体重、血圧、主な既往歴（過去にかかった大きな病気）、検査結果（腎生検結果、血液検査、尿検査）、治療、その後の検査経過、最終的に透析や腎移植が必要となったか否か

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 森山能仁

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

平成 26 年 10 月 1 日

東京女子医科大学東医療センター皮膚科に通院中（または過去に通院・入院
されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 ダーモスコピーによる皮膚腫瘍画像自動解析プログラムの作成

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター皮膚科

〔研究責任者〕 田中 勝（東医療センター皮膚科教授）

〔研究の目的〕 ダーモスコピー撮影画像をコンピュータで自動解析することにより、悪性か良性かを判別するための自動解析プログラムを作成する

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

皮膚腫瘍（色素細胞母斑、悪性黒色腫、基底細胞癌、日光角化症、ボーエン病、汗孔腫、脂漏性角化症、血管腫、皮膚線維腫など）の患者さんで、平成 18 年 1 月 5 日から平成 26 年 9 月 30 日までの間にダーモスコピー検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、ダーモスコピー写真

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター皮膚科 担当医師 田中 勝

電話 03-3810-1111 FAX 03-3894-1441

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下手術の意義

[研究機関] 東京女子医科大学病院 消化器外科

[研究責任者] 山本雅一 東京女子医科大学 消化器外科 主任教授

[研究の目的]

現在までに行われている、cStage II/III(大腸癌取扱い規約第 7 版)下部直腸癌に対する腹腔鏡下手術と開腹手術の短期成績と予後を比較することにより、本邦での cStage II/III 下部直腸癌の外科治療における、腹腔鏡下手術の意義を検証する。

[研究の方法]

● 対象となる患者さん

2010 年 1 月から 2011 年 12 月の間に手術を受けた、腫瘍が下部直腸(Rb)にかかる cStage II/III(大腸癌取扱い規約第 7 版)直腸癌の症例

● 利用するカルテ情報

観察・検査項目

術前患者情報

患者識別番号（各施設で付与）

生年月日

性別

身長

体重

ASA-PS 分類 (American Society of Anesthesiologists physical status classification)

併存疾患（既往歴）の有無

腹部手術既往の有無（鼠径ヘルニア手術は含めない）

緊急手術かどうか

狭窄症の有無（通常径ファイバー通過の可否）

治療前のストマ造設の有無

術前ヘモグロビン、白血球数、CRP 値 (90 日以内の直近)

治療開始直前 CEA の上昇の有無

治療前診断 (cT、cN)

肛門縁から腫瘍下縁までの距離 (治療開始直前の評価、評価法は問わない)

治療開始前の側方リンパ節陽性かどうか

手術所見

占居部位 (Rb, Rab, Rba, RS-Rab, Rb-P など) (取り扱い規約第 7 版)

手術年月日

手術アプローチ (開腹・腹腔鏡)

開腹移行の有無 (標本摘出以外の理由で創延長をおこなう事)

開腹移行の理由 (出血・臓器損傷・視野確保困難・腫瘍の進行・側方郭清等)

術式 (低位前方切除、直腸切断、ハルトマン手術、括約筋間直腸切除(ISR)、骨盤内臓(器)全摘(TPE))

合併切除臓器の有無 (精嚢・膣・尾骨・前立腺・内腸骨動静脈・その他)

一時的人工肛門造設の有無

吻合法 (器械、手縫い)

肛門縁から吻合部までの距離

ドレーン留置の有無 (腹腔内・直腸内)

AN (自律神経系の温存)

中枢側リンパ節郭清度 (DX, Do, DI, D2, D3)

手術時間 (分)

出血量 (g)

術中輸血の有無 (MAP や全血輸血)

術中有害事象・grade (CTCAE ver4.0 grade2 以上)

側方郭清

施行の有無 (郭清なし・予防的・治療的・サンプリングのみ (生検))

郭清範囲 (左側のみ、右側のみ、両側)

周術期放射線療法・化学療法

術前放射線療法の有無 (1 回照射量・回数・治療後効果判定)

術前化学療法の有無 (レジメン・コース数・治療後効果判定)

術前治療の治療完遂率、有害事象

術後放射線療法の有無 (1 回照射量・回数)

術後化学療法の有無 (レジメン・コース数)

病理診断 (取り扱い規約第 7 版)

T, N, H, P, M (部位), PM, DM, RM, Cur

上方向リンパ節郭清個数・転移個数

側方リンパ節郭清個数・転移個数・転移側 (左側・右側・両側)

その他のリンパ節郭清個数・転移個数・コメント

遺残腫瘍部位 (局所・リンパ節・腹膜・その他)

術前治療症例の組織学的効果判定 (Grade)

術後観察項目

消化管縫合不全・尿閉・創感染・その他の術後有害事象の有無・Grade (JCOG

術後合併症基準(Clavien-Dindo 分類) ver2.0 grade II 以上)

再手術の有無・施行年月日 (術後 30 日以内の有害事象による手術)

経口摂取 (流動食以上) 開始日

術翌日白血球数、CRP

術後在院日数

輸血の有無 (手術室から帰室後 72 時間以内におこなった MAP や全血輸血)

転帰 (2014 年 7 月時点)

再発の有無

再発確認日

初回再発部位 (局所、遠隔 (部位))

再発後の治療内容 (レジメン・コース数)

転帰 (原癌死、他病死、生存)

最終転帰確認日

最終ストマ閉鎖の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科

担当医師 井上 雄志

電話 03-33538111 FAX 03-5269-7507

平成 26 年 9 月 4 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肺動脈壁を用いた左主幹部病変パッチ形成術の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 心臓血管外科 主任教授 山崎 健二

[研究の目的]

肺動脈壁を用いた左主幹部病変パッチ形成術の中期、遠隔期の調査

[研究の方法]

●対象となる患者さん

単独の左主幹部病変を有する狭心症の患者さんで、平成12年6月6日から平成26年7月31日の間に肺動脈壁を用いた左主幹部病変パッチ形成術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、手術記録、経過記録、治療内容、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、超音波検査、カテーテル検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 腰山 宏

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 26 年 9 月 4 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 壁内走行冠動脈を伴う動脈スイッチ手術の遠隔成績の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 心臓血管外科 主任教授 山崎 健二

[研究の目的]

壁内走行冠動脈を伴う大血管転位症、両大血管起始症に対する動脈スイッチ手術の遠隔の調査

[研究の方法]

●対象となる患者さん

壁内走行冠動脈を伴う大血管転位症、両大血管起始症の患者さんで、昭和 59 年 7 月 26 日から平成 26 年 7 月 31 日の間に動脈スイッチ手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、手術記録、経過記録、治療内容、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、超音波検査、カテーテル検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 腰山 宏

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

東京女子医科大学病院に入院または通院中の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、検査後に残った検体(残余検体)を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 次世代全自動免疫測定装置に関する評価

[研究機関] 東京女子医科大学病院 中央検査部

[研究責任者] 川島 眞 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長

[研究の目的] 血中または尿中の微量成分を測定する新しい検査機器および試薬が、現在病院で使用している検査機器・試薬と比較して、同じように正確な検査ができるかどうかを確認するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成○年○月○日から平成 28 年 12 月 31 日の間に、診療のために血液や尿を取って測定された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液または尿（検査で測定した後の残余）

カルテ情報：年齢、性別、血液および尿検査結果、検査時の測定結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*本研究には、測定依頼があった検査測定後、どなたの検体か判らないようにした残余検体を使用しますので、検体・カルテ情報の利用を了解しない旨のお申し出を受けることができませんので、ご了承ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8112 (内線 38215)

平成 26 年 8 月 19 日

放射線科 CT 室で検査をおこなう（または過去におこなったことのある）

患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 腹部造影 CT における Fast kV switching Dual Energy CT 撮影の有用性の検討

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター放射線科

【研究責任者】 東京女子医科大学東医療センター 放射線科教授 上野 恵子

【研究の目的】

腹部造影 CT における造影剤低減症例に対する Fast kV switching Dual Energy 撮影の有用性を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 24 年 6 月 1 日から平成 26 年 6 月 30 日の間に Fast kV switching Dual Energy 撮影による腹部造影 CT 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、疾患名、画像診断検査結果（CT 画像）、身長、体重、eGFR 値（腎像の機能を表す数値）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター放射線科 担当 田中 功

電話 03-3810-1111（内線 8900） FAX 03-3894-0282

平成26年7月3日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 4型胃癌化学療法における効果予測因子としての
核酸代謝酵素 mRNA 発現に関する母集団調査

【研究機関】 東京女子医科大学病院第二外科

【研究責任者】 亀岡信悟 第2外科 教授

【研究の目的】

4型胃癌の化学療法の効果予測因子を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

4型胃癌の患者さんで、平成2年1月4日から平成17年12月31日の間に第二外科に入院し、胃全摘出を行った方。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：摘出標本の病理検体

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、血液検査、画像検査、病理検査、予後（5年経過後）、再発の有無

●核酸代謝酵素 mRNA の測定は大鵬薬品工業株式会社に依頼します。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二科 担当医師 瀬下明良

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 26 年 9 月 1 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児期発症の神経筋疾患における心拍変動解析の臨床応用

[研究機関] 東京女子医科大学病院小児科

[研究責任者] 小児科 主任教授 永田智

[研究の目的] 簡便に測定し得る 24 時間ホルター心電図を用いて、小児期発症の神経筋疾患患者における心拍変動の特性を見出し、心合併症の治療指標とすること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1990 年以降に当科への受診または入院歴のある、神経筋疾患の患者さん

●利用するカルテ情報

診療記録、24 時間ホルター心電図記録、心電図記録、心電図モニター記録、血液検査結果、心臓超音波検査結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院小児科 担当医師 石垣景子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7338

平成 26 年 9 月 5 日

産婦人科および母子総合医療センターに通院中または過去に通院・入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 羊水染色体検査実施における後方視的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院母子総合医療センター

[研究責任者] 松井英雄 産婦人科 主任教授

[研究の目的]

母体血を用いた新型出生前検査法の導入前後における、当院での羊水検査実施状況を詳細に検討し、羊水検査実施の実態を明らかにする目的で行う。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 20 年 1 月 1 日から平成 26 年 8 月 31 日の間に当院で羊水染色体検査を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、診断名、治療内容、検査結果、羊水染色体検査の受検理由、住所地、妊娠転帰、分娩転帰、児の転帰

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 母子総合医療センター

担当医師 小川正樹

電話 03-3353-8111 内線 29433 FAX 03-5269-7350

平成 26 年 8 月 1 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめる事で行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 年齢別で分けた T1 腎癌に対する腎部分切除術と根治的腎摘除術の生存率比較

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 泌尿器科 主任教授 田邊一成

【研究の目的】

腎癌に対する治療を最適化するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎癌の患者さんで、1988 年 1 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日の間に腎部分切除術ないし根治的腎摘除術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、術前後腎機能、糖尿病・高血圧の有無、BMI、腫瘍径、観察期間、全生存率、癌特異的生存率、死因。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科

担当医師 高木敏男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 26 年 9 月 29 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 濾胞性リンパ腫の化学療法における初期治療完遂率と併存合併症の関連性の後方視的検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院血液内科

【研究責任者】 東京女子医科大学血液内科・主任教授・田中淳司

【研究の目的】

濾胞性リンパ腫の治療効果を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

濾胞性リンパ腫の患者さんで、平成 15 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に濾胞性リンパ腫の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、病理組織型、進行期、既往歴、前治療歴、併存合併症の有無、血液生化学検査、画像評価、治療内容、治療効果、治療関連の副作用

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 渡邊 彩

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7329

平成 26 年 10 月 1 日

呼吸器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 各種呼吸器疾患における気道粘液組成に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院呼吸器内科

[研究責任者] 東京女子医科大学 第一内科学講座 主任教授 玉置 淳

[研究の目的] 呼吸器疾患における気道ムチンの動態を検討する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 21 年度以降に気管支肺胞洗浄液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：気管支肺胞洗浄液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：年齢、性別、病歴、職業歴、嗜好、診断名、治療歴、検査結果疾患名、手術名、治療内容、臨床経過、血液検査、画像検査、生理学検査、気管支鏡検査、病理学的検査

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院呼吸器内科 担当医師 武山 廉

電 話：03-3353-8111 内線 39333（医局）

平成 26 年 10 月 7 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

関節リウマチの日常臨床におけるゴリムマブ 50mg 及び 100mg 投与の安全性・有効性の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 山中 寿 教授

[研究の目的]

関節リウマチ患者さんへのゴリムマブ（製品名：シンボニー[®]）50 mg と 100 mg 投与の安全性と治療効果を確認するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

関節リウマチの患者さんで、平成 23 年 9 月から平成 24 年 7 月の間にシンボニー[®]による治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、関節リウマチにかかってからの期間、体重、腫脹関節数、疼痛関節数、Visual analog scale (VAS)、健康評価に関する質問 (J-HAQ)、メトトレキサート使用割合・量、プレドニゾロン使用割合・量、シンボニー[®]導入前に使用した生物学的製剤使用数、副作用情報、シンボニー[®]投与を続けているかどうか

＜血液検査結果＞血沈、CRP、リウマトイド因子、MMP-3、

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学病院附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 山中 寿、佐藤 恵里

電話 03-5269-1711 FAX 03-5269-1726

平成 26 年 8 月 31 日

新生児医学科に入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 透析中の母体より出生した児の臨床的検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院周産期センター母子総合医療センター新生児医学科

【研究責任者】 楠田 聡 母子総合医療センター新生児医学科 教授

【研究の目的】

透析中の母体より出生した児の臨床的特徴を明らかとすることで、今後のより良い診療方針の決定や御家族への情報提供に役立てる。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

透析中の母体から出生した患者さんで、平成14年1月1日から平成24年12月31日の間に東京女子医科大学母子総合医療センター新生児医学科へ入院された患者さん

●利用するカルテ情報

母体情報、性別、在胎週数、出生体重、出生時状況、入院後経過、合併症、検査結果、治療内容、予後、退院後経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院母子総合医療センター新生児医学科

担当医師 今井 憲

電話 03-3353-8111・・・ FAX 03-5269-7668・・・

平成 26 年 9 月 17 日

眼科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 未成年者における色覚異常の色識別能力と社会適応に関する後向き研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院眼科

[研究責任者] 飯田知弘 主任教授

[研究の目的]

未成年者の色覚異常の色を見分ける力と社会生活への影響について調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

色覚異常またはその疑いのあった 20 歳未満の患者さんで、平成 10 年 4 月 1 日から平成 26 年 8 月 31 日の間に色覚検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、問診の内容、検査結果（色覚検査を含む眼科的一般検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院眼科 担当医師 中村 かおる

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7343

平成 26 年 9 月 24 日

**循環器内科・画像診断・核医学科に通院中（または過去に通院・入院された
ことのある）の患者さんまたはご家族の方へ**

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心サルコイドーシスにおける非侵襲的画像所見に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

[研究責任者] 画像診断・核医学講座 主任教授 坂井修二

[研究の目的]

心サルコイドーシスの画像所見と病態との関連を明らかにし、画像所見から精度の高い診断能や治療方針に結びつく指標を探索することを目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

心サルコイドーシスが疑われた患者さんで、平成 24 年 8 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に FDG-PET 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、臨床経過、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、24 時間ホルター心電図、心臓超音波検査、病理所見、心臓カテーテル検査所見）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 百瀬満

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7531

平成 26 年 8 月 20 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 非代償性肝硬変おける肝性腹水の実態調査

【研究機関】 多施設共同 【研究代表者】 武蔵野赤十字病院 副院長 泉 並木

【参加施設】

共同調査参加施設 施設責任者

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1. 武蔵野赤十字病院消化器科 | 泉 並木 |
| 2. 慶応義塾大学 消化器内科 | 海老沼 浩利 |
| 3. 独立行政法人国立病院機構東京病院 消化器内科 | 上司 裕史 |
| 4. 東京都立多摩総合医療センター 内科 | 唐鎌 優子 |
| 5. 杏林大学第三内科 | 川村 直弘 |
| 6. 順天堂大学練馬病院 消化器内科 | 大久保 裕直 |
| 7. 東京医科大学八王子医療センター 外科 | 島津 元秀 |
| 8. 慈恵会医科大学付属第三病院 消化器・肝臓内科 | 西野 博一 |
| 9. 公立昭和病院 消化器内科 | 野内 俊彦 |
| 10. 青梅市立総合病院 消化器内科 | 野口 修 |
| 11. 東京女子医科大学 消化器病センター | 橋本 悦子 |
| 12. 東京医科大学消化器内科 | 森安 史典 |
| 13. 日本大学板橋病院 消化器内科 | 森山 光彦 |
| 14. 日本医科大学多摩永山病院 外科 | 吉田 寛 |
| 15. 東海大学八王子病院 消化器内科 | 渡辺 勲史 |
| 16. 新百合ヶ丘総合病院・肝疾患低侵襲治療センター | 圏分 茂博 |

[当院における研究責任者] 橋本 悦子 東京女子医科大学 消化器内科 教授

[研究の目的]

肝硬変患者で腹水治療を行っている患者さんを対象とし腹水治療の現状と予後について明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肝硬変の患者さんで、平成 24 年 1 月 1 日から平成 25 年 1 月 31 日の間に腹水治療を受けた方

●利用するカルテ情報

*診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、検査結果（血液尿検査、画像検査、腹水検査、内視鏡検査）など。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 谷合 麻紀子、小木曾 智美

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

画像診断・IVR 科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 日常診療下における心臓 CT の被曝線量に関する調査研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター 放射線科

〔研究責任者〕 町田 治彦 東京女子医科大学東医療センター 放射線科 講師

〔研究の目的〕

心臓 CT 検査における被曝線量の実態を明らかにし、被曝線量の大小（ばらつき）に影響する患者因子および撮影因子を検査目的別に明らかにすることを目的とする。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2013 年 1 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日の間に造影剤を使用した心臓 CT 検査が実施された患者さん

●利用するカルテ情報

性別、年齢、体重、身長、eGFR または血清クレアチニン値（検査前 3 ヶ月以内）、検査時心拍数、不整脈の有無、検査目的、CT 撮影条件、前処置方法、造影剤注入条件、被曝線量、上行大動脈におけるノイズ量

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

尚、本研究に関してはバイエル薬品株式会社より、臨床研究契約に基づく資金提供を受けるが、研究の実施および評価に影響を及ぼすことはありません。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター 放射線科

担当医師 町田 治彦

電話 03-3810-1111

平成 26 年 9 月 20 日

呼吸器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 鎖骨下動脈浸潤 T4 肺癌に対する椎骨動脈再建の必要性に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学八千代医療センター

【研究責任者】 関根康雄 呼吸器外科

【研究の目的】

鎖骨下動脈浸潤 T4 肺癌手術症例を解析し、鎖骨下動脈合併切除再建例において、術前の脳血管系の画像所見および手術手技、特に椎骨動脈再建の有無と術後脳血管系合併症および局所コントロールの関係を明らかにすること

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1999 年 11 月から 2014 年 3 月までに、東京女子医科大学八千代医療センター呼吸器外科、千葉大学病院呼吸器外科、成田赤十字病院呼吸器外科、国立病院機構千葉医療センター呼吸器外科に入院し、鎖骨下動脈浸潤を伴う肺癌手術を受けられた方

●利用するカルテ情報

- ①患者基本情報：年齢、性別、喫煙歴、既往歴
- ②疾患情報：疾患名、手術名、治療内容、組織型、病理病期、手術内容、予後、再発
- ③血液検査結果：肝機能、腎機能、電解質、腫瘍マーカー
- ④画像検査所見：CT、MRI、心エコー、PET、内視鏡、肺機能

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京女子医科大学八千代医療センター 担当医師 関根康雄
電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 26 年 9 月 20 日

呼吸器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 肺癌患者における CPFE(combined pulmonary fibrosis and emphysema)合併の術後合併症及び長期予後への影響

【研究機関】 東京女子医科大学八千代医療センター

【研究責任者】 関根康雄 呼吸器外科

【研究の目的】

肺癌手術患者の中で、術前に肺気腫または肺線維症を有していることが、術後合併症および長期予後にどのような影響を与えるか調査すること

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 20 年 4 月から平成 26 年 3 月の間に肺癌手術を施行した方

●利用するカルテ情報

- ①患者基本情報：年齢、性別、喫煙歴、既往歴
- ②疾患情報：疾患名、手術名、治療内容、組織型、病理病期、手術内容、予後、再発
- ③血液検査結果：肝機能、腎機能、電解質、腫瘍マーカー
- ④画像検査所見：CT、MRI、心エコー、PET、内視鏡、肺機能

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学八千代医療センター

担当医師 関根康雄

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 26 年 10 月 22 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肝硬変に伴う体液貯留症例に対するトルバプタン治療の有効性および効果予測因子の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器内科

[研究責任者] 橋本 悦子 東京女子医科大学 消化器内科 教授

[研究の目的]

肝硬変での体液貯留に対するトルバプタン治療の有効性を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肝硬変の患者さんで、平成 25 年 9 月 13 日から平成 26 年 8 月 31 日の間に腹水などの体液貯留の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

*診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液尿検査、画像検査、腹水検査）、など。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 小木曾 智美

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 26 年 10 月 17 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「尿管癌に対するリンパ節郭清の範囲と生存率および再発パターンに与える影響の検討」

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 主任教授 田邊 一成

【研究の目的】

尿管がんの患者さんの手術後の成績とリンパ節郭清の影響を検討する

【研究の方法】

●対象となる患者さん

上部尿路上皮がんの患者さんで、昭和 62 年 1 月 1 日から平成 26 年 8 月 31 日の間に手術治療を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、身体所見、理学所見、血液検査結果、画像診断結果（CT、MRI、シンチグラフィ）
- ②手術所見、手術成績（手術時間、出血量、合併症、退院日）、病理検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 近藤 恒徳

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 26 年 9 月 15 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術における early unclamping technique の無症候性未破裂仮性動脈瘤の発生抑制効果の検討」

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 主任教授 田邊 一成

〔研究の目的〕

ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術後の無症候性未破裂仮性動脈瘤発生に対して、術中の early unclamping technique（腎実質縫合前に早期に腎血管の阻血下を解除し腎の阻血時間を短くする方法）が発生頻度を抑制しているかどうかを検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

腎腫瘍の患者さんで、平成 25 年 1 月 1 日から平成 26 年 9 月 30 日の間に低侵襲腎部分切除術を受けられ、術後 3, 4 日目の早期に造影 CT を受けた方

●利用するカルテ情報

①年齢、性別、身体所見、理学所見、血液検査結果、画像診断結果（CT, MRI、シンチグラフィ）

②手術所見、手術成績（手術時間、出血量、合併症、退院日）、病理検査結果

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 近藤 恒徳

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 26 年 10 月 6 日

歯科口腔外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 歯科領域における金属アーチファクト低減ソフトの検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学八千代医療センター 画像検査室

〔研究責任者〕 福田幸太郎 （診療放射線技師）

東京女子医科大学八千代医療センター画像検査室

〔研究の目的〕

当院の CT には、金属のアーチファクトを低減するアプリケーションソフトが搭載されております。アーチファクトとは何らかの原因で生じた偽りの異常所見を言います。アーチファクトは CT 画像において診断の妨げになる可能性があります。本研究では、このソフトを使用することで、歯科インプラントを挿入された患者様の CT 画像による診断能を向上することを目的としております。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

歯科口腔外科で通院された患者さんで、平成 26 年 4 月 8 日から平成 26 年 6 月 30 日の間に AquilionONE で上顎骨・下顎骨・歯の CT を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、CT 画像

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学八千代医療センター 画像検査室 診療放射線技師 福田 幸太郎

電話 047-450-6000 （内線番号：2152）

平成 26 年 10 月 9 日

眼科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 上皮型と実質型角膜ヘルペス合併例に対する治療法の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院眼科

〔研究責任者〕 眼科 准教授 高村悦子

〔研究の目的〕

角膜ヘルペスに対する適切な治療薬の投与法を調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

角膜ヘルペスの患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 26 年 5 月 31 日の間に樹枝状角膜炎が再発し治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、角膜ヘルペスの病型、検査結果（視力、細隙灯顕微鏡所見、眼圧、前眼部写真撮影）、治療関連情報（治療に用いた薬剤、投与法、投与期間、転帰、再発の有無など）。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院眼科

電話 03-3353-8111

担当医師 高村悦子

FAX 03-5269-7343

平成 26 年 10 月 1 日

救命救急センターに入院されたか患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 心肺停止症例に対する予後の研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院救命救急センター

【研究責任者】 矢口有乃 救急医学講座 准教授・診療部長代行

【研究の目的】

心肺停止の予後に関する因子を調べ治療に活かすため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 20 年 2 月 1 日から平成 25 年 2 月 28 日までに心肺停止で来院された患者さん

●利用するカルテ情報

性別、年齢、既往症、診断名、血液検査、生理学検査、時間経過、瞳孔径

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院救命救急センター 担当医師 諸井隆一

電話 03-3353-8111 内線 36085 FAX 03-5269-7335

平成 26 年 10 月 25 日

形成外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児の真皮メラノーシスに対するレーザー治療における合併症の検討

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター形成外科

[研究責任者] 井砂 司（東京女子医科大学東医療センター形成外科 教授）

[研究の目的] レーザー治療後の合併症を減少させる照射方法の確立のため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

真皮メラノーシス（太田母斑、異所性蒙古斑）の患者さんで、
2005 年 4 月から 2013 年 6 月の間にレーザーの治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、治療内容、治療部位、写真、合併症結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター形成外科 担当医師 平野由美

電話 03-3810-1111（代） FAX 03-3800-4788

平成 26 年 10 月 15 日

リハビリテーション科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

「極低出生体重児の運動獲得時期と、影響を及ぼす初期徴候についての検討」

[研究機関] 東京女子医科大学病院リハビリテーション科

[研究責任者] 猪飼哲夫 東京女子医科大学 リハビリテーション科 教授

[研究の目的] 極低出生体重児の運動獲得時期と影響因子について検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学母子総合医療センターに入院していた極低出生体重児（1500 g 未満で出生）の患者さんで、平成 22 年 4 月 1 日から平成 25 年 11 月 30 日の間にリハビリテーションを開始した方

●利用するカルテ情報

- ① 診断名、合併症、在胎期間、出生体重、出生予定日、人工呼吸器管理日数、酸素使用日数 在宅酸素使用の有無、手術の有無、入院期間、MRI 所見、発育状況
- ② 理学療法評価所見（General Movements、新生児神経学的評価、覚醒状態、自己沈静能力、姿勢・運動の特徴、筋緊張、関節可動域制限、感覚）
- ③ 運動獲得月齢（定額／AirPlane／仰臥位にて手で足を持つ／寝返り／座位保持／腹這い／起き上がり／四つ這い／捕まり立ち／独歩）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院リハビリテーション科

教授 猪飼哲夫

担当理学療法士 長谷川三希子

電話 03-3353-8111 内線 20131 FAX 03-5269-7639

平成 26 年 11 月 17 日

産婦人科および母子総合医療センターに通院中または過去に通院・入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 生殖補助医療と高齢妊娠との関係に関する後方視的検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院母子総合医療センター

〔研究責任者〕 松井英雄 産婦人科 主任教授

〔研究の目的〕 当院において 2003 年、2008 年、2013 年に分娩した患者における生殖補助医療（いわゆる不妊治療を指し、体外受精・胚移植を中心とした治療のこと）と高齢妊娠（分娩予定日時点で 35 歳以上の妊娠）との関係を明らかにすることを目的として行う。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2003 年、2008 年、2013 年の 1 月から 12 月の間に当院でお産された方

●利用するカルテ情報

年齢、妊娠経過中に認めた病名、それに対する治療の内容、検査結果、住所地、どのような妊娠経過をたどったか、どのような分娩経過をたどったのか、生まれた赤ちゃんの一週間の経過はどのようなだったのか

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 母子総合医療センター 担当医師 小川正樹

電話 03-3353-8111 内線 29433 FAX 03-5269-7350

添付資料 2

平成 26 年 10 月 27 日

八千代医療センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 Fluorescence in situ hybridization (FISH) 法を用いた中皮腫診断法の開発に関する研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院八千代医療センター

〔研究責任者〕 病理診断科 教授 廣島健三

〔研究の目的〕

中皮腫は、中皮腫以外の疾患と類似した医学的所見を示す結果、診断が難しい症例が多くみられます。この研究では、中皮腫の診断が正しく行われるように、中皮腫の新しい診断方法を開発します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

中皮腫および中皮腫との鑑別が必要な疾患と診断された患者さんで、平成 22 年 4 月 1 日から平成 26 年 9 月 30 日の間に受診され、標本の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：生検標本、細胞診標本、手術標本、解剖標本（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、転機

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

千葉県八千代市大和田新田 477 番地 96

東京女子医科大学病院八千代医療センター病理診断科 担当医師 廣島健三

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「東京都の NICU 入院児における脳性麻痺発症状況の調査（多施設共同研究）」

【研究機関】 母子総合医療センターNICU 部門，東京女子医科大学病院小児科

【研究責任者】 楠田 聡 東京女子医科大学母子総合医療センター センター長、教授

【研究の目的】

脳性麻痺発生状況を調査し、その周産期要因を明らかにすることで、周産期の治療の改善による脳性麻痺発生の予防策を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

脳性麻痺の患者さんで、2012 年 1 月 1 日から 2012 年 12 月 31 日までの間に当院 NIU に入院し治療を受けた方

●利用するカルテ情報

出生時在胎週数、出生体重、性別、母体合併症、母体妊娠合併症、胎児機能不全の合併の有無、出生場所、アプガースコア、臍帯血 pH、新生児合併症、乳児期の発達状況、乳児期の外来受診状況、1 歳半での神経学的所見、発達検査（新版 K 式、遠城寺式、津守稲毛式発達テスト デンバー発達スクリーニングテストなど）、外来経過観察病院の情報

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院小児科 担当医師 平澤恭子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7338

平成 26 年 10 月 15 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 肺動脈低形成症候群の病態解明、管理、治療に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 中西敏雄、循環器小児科、教授

【研究の目的】

肺動脈低形成症候群の患者を登録し、遺伝学的検査、病態把握、自然歴の把握、手術法と手術時期、予後に関するデータ分析を多施設共同で組織的、体系的に行います。各施設で行われた手術の成績を検討し、リスクを調べ、心不全治療の有効性を検討します。データに基づいて肺動脈低形成症候群における治療、管理のための指針を作成します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

肺動脈低形成症候群の患者様で、平成 3 年 1 月 1 日から平成 26 年 8 月 31 日の間に外来受診を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、家族歴の有無、合併症、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心臓カテーテル検査）、治療内容、重症度（NYHA分類）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 中西敏雄

電話 03-3353-8112 内線 23111

FAX 03-3352-3088

平成 26 年 11 月 5 日

東医療センター検査科（光学診療部）で大腸内視鏡検査を受けられた
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 85 歳以上の高齢者に対する大腸内視鏡検査の妥当性・安全性に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター検査科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学東医療センター検査科 教授 加藤博之

〔研究の目的〕 多施設共同研究により、85 歳以上の高齢者に対する大腸内視鏡検査例を集積し、その妥当性・安全性について検討します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2010 年 9 月～2012 年 8 月までの 2 年間に、待機的に大腸内視鏡検査を行った 85 歳以上の患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、大腸内視鏡検査結果、治療内容、合併症、予後調査

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター検査科

担当医師 加藤博之

電話 03-3810-1111 FAX 03-3531-1272